



2021年12月期 第3四半期

決算説明資料

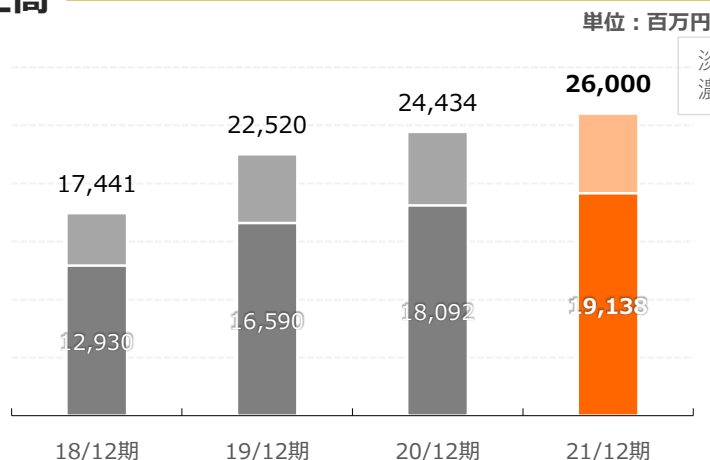
株式会社アイ・エス・ビー

2021年12月期 3Q 連結損益計算書

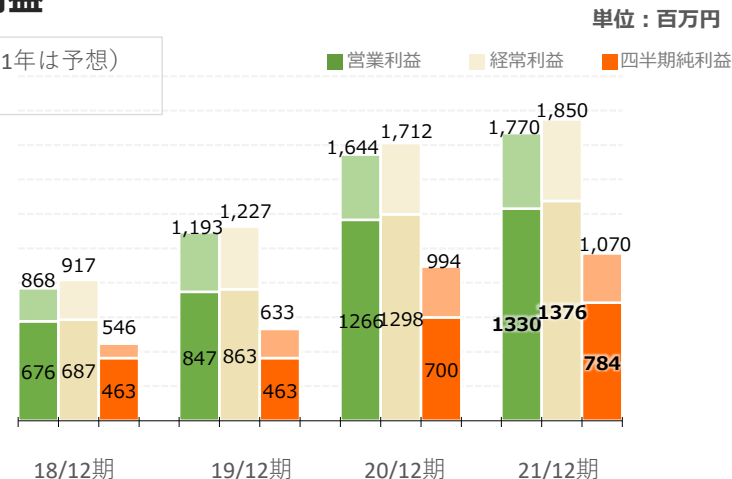
- 人手不足に対応した業務効率化、5G関連業務などの受注増、既存セキュリティシステムのリニューアル工事の受注増などが寄与し、前年同期比増収増益。

単位：百万円	2020 3Q	2021 3Q	増減	前期比	2021予想	進捗率
売上高	18,092	19,138	+1,046	+5.8%	26,000	73.6%
営業利益	1,266	1,330	+64	+5.1%	1,770	75.1%
営業利益率	7.0%	7.0%	+0pt	-	6.8%	-
経常利益	905	1,376	+471	+6.0%	1,850	74.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	497	784	+287	+12.0%	1,070	73.3%

売上高



利益

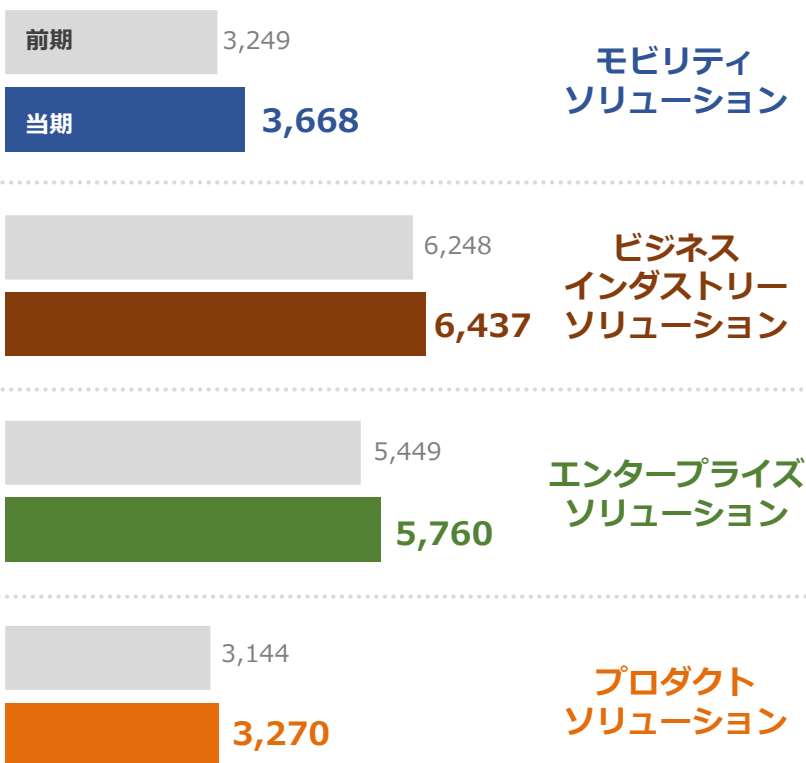


2021年12月期 3Q 連結分野別売上高/構成比

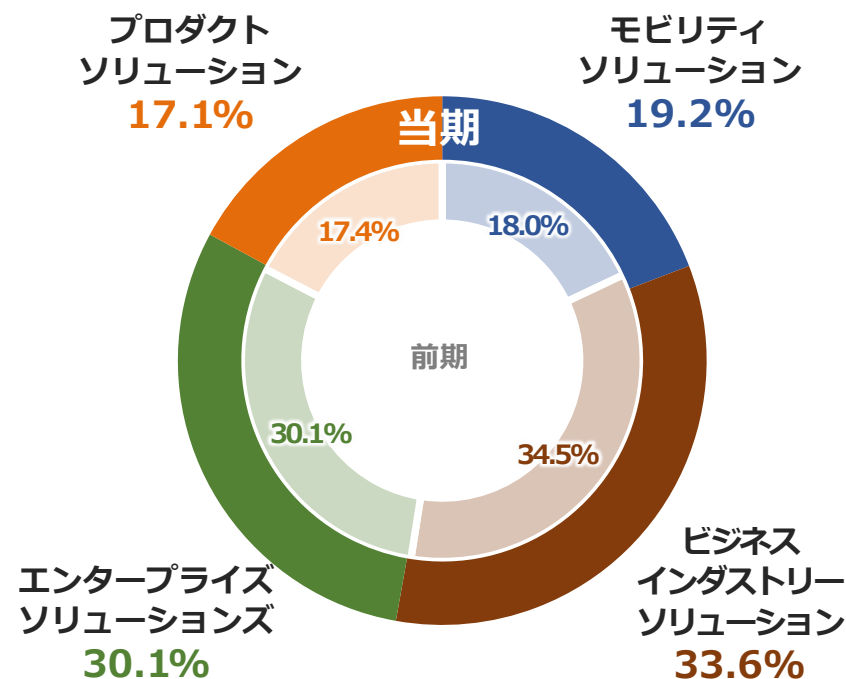
- モビリティ
 - － 5G向け基地局に関わるシステム開発、車載を主とするシステムの組み込み開発の受注が伸長。
- ビジネスインダストリー
 - － 一部プライム案件の開始中止の影響を受けるが、組み込み開発での継続案件などが堅調に推移。
- エンタープライズ
 - － サーバ・ネットワーク構築業務が引き続き堅調に推移。
- プロダクト
 - － セキュリティシステムのリニューアル工事の受注が伸長。

分野別売上高 前期比較

単位：百万円



分野別売上高 構成比前期比較



2021年12月期 3Q 分野別売上高 通期計画進捗状況

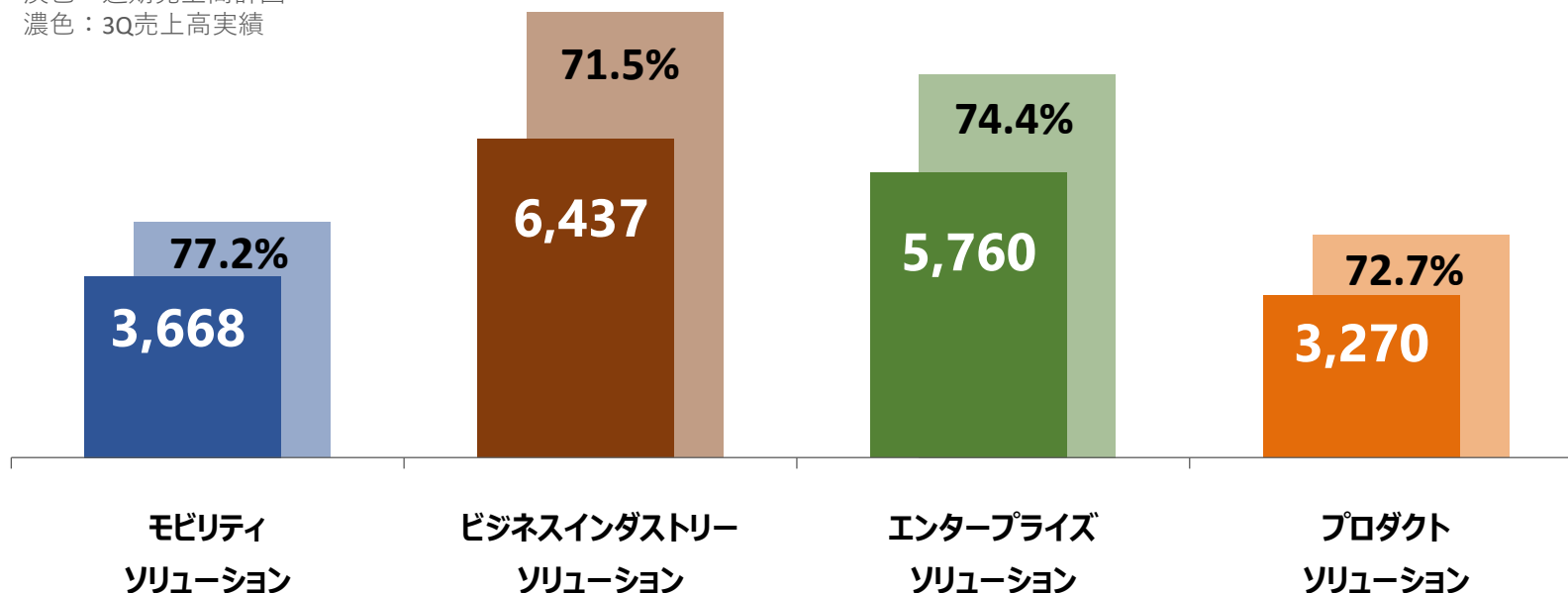


- モビリティ
 - － 車載を主とするシステム開発業務で半導体調達難の影響が表れ始めているが、5G関連業務の受注増により、通期計画が達成の見込み。
- ビジネスインダストリー
 - － 組込み系開発は堅調に推移するものの、企業向けシステム開発の新規受注量が不足。継続案件確保と提案営業の強化で受注量確保を目指す
- エンタープライズ
 - － 公共系業務の不足分を補うため流通系業務へシフトし、通期計画が達成の見込み。
- プロダクト
 - － 一部工期の後ろ倒しの影響を受けるが、営業活動強化を図り通期計画達成を目指す。

通期計画進捗状況

淡色：通期売上高計画
濃色：3Q売上高実績

単位：百万円



白文字：3Q売上高実績（百万円）
黒文字：分野別通期売上計画に対する進捗率



本資料は、2021年12月期第3四半期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2021年9月末時点の状況において作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。